

# 次へ向かう力

第3号  
令和4年1月  
発行人：沖・宮山

西南学院大学ラグビー部保護者の皆様並びにOBの皆様、お世話になっております。4年マネージャーの沖と宮山です。新年が始まり一月が経とうとしていますが如何お過ごしでしょうか？私たち4年生は春から新社会人になります。今回の『次に向かう力を』では4年生の人としての成長や社会人に向けての気持ち等を掲載しています！本号で最後の4年生特集となるので是非最後までご覧ください♪



2021年 西南学院大学ラグビー部  
選手36名 マネージャー11名

## 4年生からのメッセージ

### ▼ 廣瀬悠二



○保護者・OBの皆様へ  
これまで多くのご声援やご支援ありがとうございました。また、保護者の皆様に関しましては、息子さんや娘さんを育ててくださりありがとうございます。おかげでかけがえのない同期や後輩達と素晴らしい時間を

過ごすことが出来ました。

OBの皆様に関しましては、手厚いサポート本当にありがとうございました。先輩方が築かれた西南ラグビーの歴史を次に繋げることが出来ました。これからは一緒に西南ラグビーを1OBとしてサポートしていきます。

### ○人としての成長

昨年はコロナウイルスの影響で練習時間や対外試合の禁止など、あらゆる規制を受けた中での活動となりました。その中で、当たり前前の日常が失われて改めて、如何に恵まれた環境に置かれていたかを再確認することが出来ました。また、ラグビーだけで無く友人や家族が自分の中でどれだけ大切な存在か痛感しました。コロナウイルスという理不尽の中での活動を経験したことで周りへの感謝、当たり前だと思わない精神を身につけることが出来たと思います。

### ○ラグビーを通して

4年間の大学ラグビーを通して、物事のベクトルを内側に向けられる人間になれたと思います。

人は上手くいかないことや納得のいかないことを前にした時に、周囲の環境のせいにするなど、何かと理由をつ

けて言い訳をしてしまう生き物だと思います。しかし、リーダー経験やコロナ禍での活動を通して払拭することが出来たと思います。

文句を言う、言い訳をする前に、その中で 100%やっているか、恥ずかしくないか、と一旦自分自身にベクトルを向けることが出来る人間に後輩達にはなって欲しいです。

#### ○将来への（社会人の）課題と目標

ラグビーのタックルは中途半端な気持ちで入ると失敗しますし、怪我をしてしまいます。それと同じように社会人も生半可な気持ちではやっていけないと考えます。全力でタックルをしていたように社会人としてもやるからには全力でぶつかって行きます。

私は人生の目標として「良い父になる」ということを掲げています。その目標を達成するために必要なものを社会で得られるよう生きていきます。

### ▼ 久保山智樹



○保護者・OBの皆様へ  
仲間と思いきりラグビーに取り組めた環境があったのは、OB・保護者のサポートがあったからだ実感しています。本当にありがとうございました。今後とも後輩たちのサポートをよろしくお願いします。

#### ○人としての成長

大学4年間の副主将などの経験を通して、自身のことだけではなく、視野を広く持って周りに対して気配りができるようになったと実感しております。また、大学4年間で自身の言動や行動に対して責任を持つことの重要性を学びました。

#### ○ラグビーを通して

ラグビーで人としての成長が大きく活かされたと感じております。

#### ○将来への（社会人の）課題と目標

将来の課題としては、物事に対して受け身になってしまうことがあるので、もっと自発的に行動していきたいです。社会人生活では、これまでラグビーで培ってきたことを活かして、志を持って日々精進していきたいと思えます。

### ▼ 久米研輔



○保護者、OBの皆様へ  
保護者、OBの方々の支えのおかげでプレーに専念し完全燃焼する事ができました。ありがとうございました。

#### ○人としての成長

長期的な計画力、実行力が付いたと

思います。

#### ○ラグビーを通して

仲間と一緒に協力する事の大切さを学びました。

・将来への（社会人への）課題と目標

課題は、気分屋の性格をなおすことです。目標は、立派な大人になることです。

### ▼ 徳永智耀



#### ○保護者・OBの皆様へ

保護者様・OBの方々、コロナ禍で行われた僕達の最後のシーズンに、会場まで観戦に来てくださったり、メッセージをくださったりと、多大なる応援に感謝いたします。

7年間の学生ラグビー生活を終えて、まず、きついときこそ仲間に声をかけ盛り上げることができる人間になれたのが1番の成長です。

そして、トレーニングやパス練習の努力が結果に表れたことが自信になりました。

また、“チームの元気印”という、組織の中での自分のアイデンティティを確立できたことも、今後の社会人生活に生きてくると思えます。

私は春から警察官になります。優しさだけでは務まらない仕事だと思うので、どれだけ罵倒されても怯まない忍耐力と、揺るがない強い信念を警察学校で養っていきます。

私には春から警察官になります。優しさだけでは務まらない仕事だと思うので、どれだけ罵倒されても怯まない忍耐力と、揺るがない強い信念を警察学校で養っていきます。

### ▼ 大和司



#### ○保護者・OBの皆様へ

先輩方へ

初心者の自分を暖かく迎えてくださり、ご指導をして下さりありがとうございます

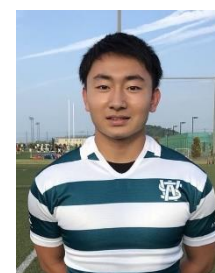
両親へ

ラグビーというしたこと無いくことをする時に、背中を押して下さいありがとうございます。そのおかげで今の自分がいます。

ありがとうございます。そのおかげで今の自分がいます。

社会人では多くの挑戦の連続ですが、ラグビー部での生活を糧に頑張っていきたいと思えます

### ▼ 近藤光志朗



#### ○保護者・OBに向けて感謝

イレギュラーなシーズンの中、僕たちがラグビーに集中することができたのは保護者やOBの方々のご支援があったからです。これからは私たち4年生もOBとしてラグビー部を支援していきたいと思えます。

僕たちが果たせなかった地区対抗戦出場の目標は、後輩たちが必ず達成してくれると思うので、今後とも西南学

院大学ラグビー部をよろしくお願ひいたします。  
4年間本当にありがとうございました。

#### ○人としての成長

常に一生懸命やることを意識してそれを継続できたことは、自分の成長に繋がったと思います。  
大学で1つの目標に向かってチーム全員で努力する経験を出来て本当に良かったです。

#### ○ラグビーを通して

4年間通して思うのは、大学でラグビーを続けて本当に良かったということです。サークルに入ろうと思っていた僕をラグビー部に誘ってくれた同期のたつ(待鳥竜伸)には本当に感謝しかありません。

自分より上手い人しかいない環境でラグビーをするのは色々としんどさもありましたが、仲間と切磋琢磨した4年間の経験は、今後の自分の人生の支えになってくれると思います。

#### ○将来への(社会人の)課題と目標

新しいことに積極的に携わることができる社員になりたいと考えています。

そのために、日々学び続けるという謙虚な姿勢を忘れずに先輩社員から多くのことを学び、自分の成長に繋げていきたいです。さらに、「迷ったら飛び込む」というチャレンジ精神を忘れずに様々な事に挑戦したいと思えます。常に当事者意識を持って自分に何ができるのかを考え、主体的に行動できる人間でありたいです。

### ▼ 藤井 柊也



#### ○保護者・OBの皆様へ

大学の4年間の充実したラグビー生活は保護者の方、並びにOBの方々の支えがなければラグビー生活を送ることができませんでした。支えていただき誠にありがとうございました。

#### ○人としての成長

組織に所属して、先輩の方々との接し方、後輩との接し方、また組織として活動する楽しさや楽しさなども学ばせていただきました。ありがとうございました。

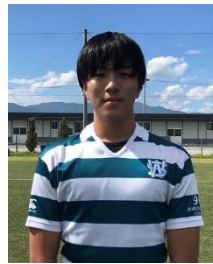
#### ○ラグビーを通してどうだったか？

ラグビーを大学でも続けて、大切な仲間を作ることができました。また、心身の強化もでき、人生の中のかげがえのない時間を過ごすことが出来ました。

#### ○将来への(社会人の)課題と目標

社会人になってからは、働くことを通して少しでも人々の役に立てるように、支えてくださった方々への恩返しができるように励んでいきます。

### ▼ 松本大輝



#### ○保護者・OBに向けて感謝

4年間たくさんのご支援とご声援ありがとうございました。家族、保護者の方々、OBの方々をはじめとする様々な方々の支えがあってラグビーをすることができました。4年間本当にありがとうございました。

#### ○人としての成長

この4年間で様々な経験をし、これから人生を歩んでいく上で必要なものを得ることができました。ここで得たものは今後の人生においても必ず役に立つと思います。

#### ○将来への課題と目標

人から必要とされる人間になります

### ▼ 待鳥竜伸



いつも応援してくださった保護者の皆様、仕事がある中でもグラウンドに足を運んで練習に参加していただいたり、声をかけてくださったりしたOB、OGの皆様、誠にありがとうございました。

私は3年生の時の大会中に怪我をしてしまい、思うように部活に参加することは出来ませんでした。チームの目標達成のために継続してリハビリなどに励みました。他の人と同じ目標を共有し、目指すことで、最後まで諦めずに努力することができたと感じています。

今年の4月から社会人になりますが、そこでも目的意識を持ち、継続的に努力することで、信頼される人間になることを目指します。

### ▼ 中川 洸志



#### ○保護者・OBの皆様へ

仕事の合間をぬって、練習や試合にきていただき本当にありがとうございました。次は自分達がグラウンドに赴き後輩の練習を指導することが、OBさんや保護者の方々への恩返しになるとおもうので、また22期の仲間とグラウンドに顔をだします！

#### ○人としての成長

辛いときにこそ声を出し、プレーで体をはり、仲間を鼓舞した！そこは、誰にも負けてないとおもってます！その底力は必ず社会でも生かしていきます！

#### ○ラグビーを通して

結論からいうと、後悔の方が多いです。自分だけのことで頭が一杯になり、なかなか後輩やチーム全体を見渡せてなかったです。何を成し遂げるにも1人の力では出来

出来ない。他人あってこそその自分であるはずなのに、上級生になっても視野が狭かったです。それでも、支えてくれた監督、コーチや仲間には感謝しかありません。

#### ○将来への（社会人の）課題と目標

私は周りに元気を与えられる社会人になりたいです。そのためにはまず、自分が誰よりも努力し、やるべきことを後回しにせず、真摯に向き合うことを大切にしていきます。

後から後悔しても手遅れということは学生時代に沢山学びました。将来はBIGな人間になる男なので、西南ラグビー部の誇りをもって社会に出ます！

その他にも、こんなコラム案を作りましたので自由使ってください

### ▼ 中西亮太



#### ○保護者・OBの皆様へ

西南ラグビー部は他校に比べて人数も少ないので、OBや保護者の方々のサポートのおかげで成り立っていました。これからは自分もできる限りのサポートをさせていただければと思います。

#### ○ラグビーを通して

ラグビー部での活動を通して、一生の仲間に出会えたことが1番良かったと思います。きつい時もあると思うけど、仲間と共に支えあいながら最後までやり切っただけで欲しいと思います。

### ▼ 沖奈菜美・宮山礼菜



まず始めに保護者の皆様、並びにOBの皆様がこの場を借りて4年間の感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました！多くの人に支えられている温かいチームの一員として4年間を過ごせてとても光栄でした。私たちは部員のサポートを通し

て、絶対的な正解はなく、一人一人と向き合うことの大切さを知ることができました。春から社会人となります。ラグビー部で学んだことはもちろん、心強い先輩、後輩、そして同期は多くの壁を乗り越える力になってくれると思います。不安もありますが、多くの人に支えられていることを思い出しながら頑張ります！4年間本当にありがとうございました！

## ヘッドコーチ岡田さんからのメッセージ

保護者・卒業生の皆さまへ

西南学院大学ラグビー部ヘッドコーチの岡田です。

○2021年度のリーダー

キャプテン廣瀬 バイス久保山 FW 安藤 BK 久米

SC 峰松 LO 中西

分析結城+中村・待鳥・竹下 主務池田

ウエイトリーダー4年徳永 3年熊原 2年上原

○チーム目標 『ベスト4』

コロナの影響と各県・各大学での対策や課外活動の状況により

・開幕の延期（10月9日→10月30日）

・リーグ戦からトーナメント戦への変更

○試合結果

10月30日1試合目 対 九州共立大学 負 0 対57

11月 6日2試合目 対 九州大学 勝 46対12

11月14日3試合目 対 鹿児島大学 負 12対18

○全体順位

1 位福岡大学 →全国大学ラグビーフットボール選手権大会出場

2九州共立大学

3福岡工業大学

4日本文理大学

5鹿児島大学 →全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会出場

（1月2日・4日・6日）

6西南学院大学

7九州大学

8志学館大学

大学生活4年。（たまに長い人もおりますが、、、）

半分の2年間をコロナの影響により、遠隔授業での学生生活を送ることになったことは、非常に残念に思います。

ただ、誰も経験したことのない大学生活を送ったことは、非常に稀な経験をしたとも言えますので、今後その経験が役に立つような思考と行動、経験と成長を続けて欲しいと願っています。

大学の4年間を『人としての成長』をテーマにコーチをさせていただいています。

そのなかで簡単ではありますが4年間のスケジュールを説明させていただきます。

1年 2018年 田上キャプテン	他者分析	大学・チーム・生活に慣れる	対自分
	自己分析	自分を考える	
2年 2019年 堀キャプテン	他者と自己の理解	他者との対比	対個人
	自主性	目標と行動	対ライバル
3年 2020年 吉富キャプテン	自主性・主体性	評価	対ユニット
	主体性	改善・修正・行動	対チーム
4年 2021年 廣瀬キャプテン	リーダー	目標に向けての発言と行動	対目標・(目的)
	社会人としての思考		対社会

2019年12月初旬に中国武漢でコロナウイルス(COVID—19)の感染者が報告されてから、わずか数か月で世界的流行(パンデミック)になりました。

2020年、全体練習の出来ない期間が長く、いかにしてラグビーをするか。公式戦前に何とか試合の出来る状態を作れるかが私だけの個人目標に追加されました。怪我人をださない為に(公式戦に耐えうる体と技術)個人に任せる練習期間が長く、スキルの向上をする期間が極めて少ないシーズンであり、全体でのミーティングなど、チームビルドが出来ない1年となりました。

その中でも、最上級生は体を張ったプレーで、チームをけん引してくれました。

シーズン終了後に、どんなチームだったか?4年生の意見と在校生の意見を提出してもらいチームの現状の把握を学年毎に行い、率直な意見を出してもらいました。

改めて組織(チーム)が成長する為には内の評価と外の評価の必要性と、それを精査した物を次の世代、次の目標に活用しなくてはならないと痛感しました。

卒業生が残してくれたものを2021年に継承するために実施しましたが、非常に興味深い内容でした。

2021年、残念ながらコロナの状態は昨年と同じく、規制のある状態でした。

スタッフミーティングを繰り返す中で、『リーダーの成長無くしてチームの成長なし!』まずはリーダーとの対話の時間を増やすことを課題とし、キャプテンとほぼ毎日メール・ライン・通話・2人での対面ミーティングを実施しました。私たちスタッフがグラウンドに行ける回数は決まっており、学生だけの練習でどれだけ出来るかがチーム向上に不可欠であることと、いつグラウンドが使えなくなるか分からない状況下で少しでも質の高い練習を効率的に実施すること今年のテーマになると考えていました。

## 廣瀬 悠二

非常に楽しそうにラグビーをする印象。

1年生の時から、タックルインパクトはNo.1でした。1対1におけるAT能力もかなり高いものを持っていましたが、ラグビー原則や、ラグビー理論はまだまだでした。。。。

試合前のアップ後にグラウンドに肩をぶつけるシーンはびっくりしたものです。

ドーンドーン音が鳴るほどだったので(笑)

2021

- ・チームルールを作成しました。
- ・チームプロフィールを作成しました。

・プレーパターンを作成しました。 他 新しいものを多数作成  
その中で  
常に『当たり前のことを当たり前にしよう』と言い続けてくれました。  
4年生のなかで、最も成長してくれた背中には誰よりも在校生の目に映っていました。  
ありがとう。

### **久保山智樹**

試合の中で、最もラグビーを体現しているプレーヤーでした。  
1年生から上手でしたが、4年生は集大成にふさわしいプレーを見せてくれました。  
素晴らしい体を作って、ラストシーズンに臨んでくれました。  
後輩に個人的にサポートをしていくこと、声を掛けること、ランメニューでのチャレンジ(1番遅かった男が1番に戻って来る)私は感動しました。本当にバイスキャプテンとして素晴らし成長をしてくれました。  
チームに対してどう接するのか1年間ぶれずにやり続けてくれました。その取り組みは必ず次のステージであなた自身をサポートしてくれます。ありがとう。

### **久米 研輔**

アメフトからの移籍組の1人です。最終学年でBK リーダーとしてチームに貢献してくれました。ウイングとしてプレーしていましたが、チーム事情で1センターにコンバートをしてラストシーズンにチャレンジしてもらいました。パスを離すことが出来る点と縦に対するDFは通用するとの判断でした。お陰で大外まで回せるBKラインが出来ました。個人スキル・BKラインはまだまだ成長の過程でありましたが、ラグビーレベルアップに貢献してくれました。その続きを後輩達が繋いでくれるはずです。ありがとう。

### **近藤 光志朗**

全員が言うでしょう！

もっとも真面目に練習に取り組んだプレーヤーのひとりだと・・・

1年生のころからランを一生懸命に走り、それを4年間継続しました。ハーフとしてはパスが遅いから速いパスを投げられるようになってくれと要望し、4年生の時はハーフの中で最もキャッチングしやすいパスとBKからは評価され、パススピードも他のハーフと遜色ないほどに成長しました。

本当に、近藤と徳永はコーチとして1番ゲームに出てほしいと願うプレーヤーでした。なぜか？それはあなたたちの背中に嘘が無く信頼を生み、発する言葉には真剣さと説得力が生まれるからです。

次のステージで遺憾なく発揮することを願ってます。ありがとう。

### **徳永 智輝**

上にも登場した徳永です。スタートはウイングで、ステップも切れて、小柄ですがDFもしっかりと出来る印象。本人の希望でスクラムハーフへのポジション変更をしました。毎日コツコツとパス練習をして、パススピードが上がって、試合に出場しラックサイドを持ち出してトライをしたときには非常に嬉しかったことを覚えてます。

そのトライでケガしましたが……………(笑)

徳永・近藤2人とも試合の経験がもっとあれば、ラグビーが上手になるはずの2人でした。もっと成長する姿を見たかった。ありがとう。

### **中川 洸志**

アメフトからの移籍組のひとりです。

身体的に・心拍的にきついときではない。何となく練習の覇気が無いときや、移動が遅いとき、いつも誰かが声を出すけど出さない時に、1番最初に声を出してくれるプレイヤーでした。気の利いたプレーをするわけではないし、気の利いた言葉を言えるタイプではないと思いますが、誰もが踏み出しにくい1歩を踏み出せるやさしい男でした。コーチが3年生の時の年間のチーム MVP はあなたでした。ありがとう。

### **中西 亮太**

アメフトからの移籍組の1人です。

ラインアウトの中心人物でした。4年生になりラインアウトリーダーとしてサインプレーなどを考え、後輩たちに指導してくれるようになったことに成長を感じました。セットプレーの安定を作り出したくれた1人です。ありがとう。

※移籍組の4人はうまくチームに馴染むのか、隣で練習しているアメフトとの兼ね合いはうまくいっているのか、気になりアメフトコーチに話を聞きに行ったこともありましたが、そんなことを忘れる程チームに馴染みラグビー部にとって必要な人材となりました。

### **藤井 柁也**

1年生のときにBKをやりたいと話をしたことを思い出します。(笑)

年々ラグビーがうまくなっている選手でした。

ジャッカルが得意で何度チームを救ってくれたか分かりませんが、コーチとしては、もっと高みのあるプレーを思い描いて表現して欲しい選手の1人でした。フィットネスはあったので、フィジカル面にもっとフォーカス出来れば、大好きなATの幅が広がってオフロードパスやラインブレイクも可能であったと思います。次のステージではもっともっと自分を磨いてください。ありがとう。

### **待鳥 竜伸**

私が西南学院大学に来てから、最もラグビーがうまい選手。

これだけうまいと他の選手に対して不満が出るのではと、心配しましたが、持ち前の優しさと自分の仕事をやり抜く責任感でチームレベルの向上に貢献してくれました。個人的に私へ、このプレーはこのように意識してプレーしましたが、どうでしょうかと試合後に質問に来た時に成長を感じました。意識しているプレーを実践で実行できることは、すでにレベルの高いところにいることをあまり自覚していなかったように見えていたので、コーチとしては、その部分を自己分析し、強みとして認識してもらい、目標の為にチームの為に自分の為にリーダーシップをとって欲しいと思っていました。出来る能力もあった。しかし、最も成長の出来る4年に上がる前の、2020年12月鹿児島大学戦のアップで前十字靭帯断裂。手術を余儀なくされました。最終学年の公式戦復帰を目標に、リハビリを頑張ってもらいましたが、蜂窩織炎・交通事故などもあり、試合出場は出来ませんでした。

次のステージでフィールドは変わりますが、考え方は同じです。自分を高めると同時に周りも引き上げることでできるような人になってください。ありがとう。

### **松本 大輝**

アメフトからの移籍組です。

すごく足の速い選手で、長い距離でもスピードを落とさずに走れる貴重な人材でした。

体の線は細いのですが、相手の軸に自分の軸を合わせる能力に長けていて、コンタクトプレーでは力強いプレーを見せてくれました。最終学年では肉体改造に、力を入れていることが一目で分かる程大きくなりました。意図して取り組んできたことが、体に現れ、自信にもなったと思います、プレー中の声(指示・表明)も格段に増えていました。



自分の中で目標を持ち、意図して行動・プレーをしていることで成長しているのだと感じることのできる選手でした。いい背中をありがとう。

## 大和 司

ラグビー未経験者です。

声が大きく笑顔が素敵な印象でした。4年間変わりませんでした。良かった。

1～周りの仲間にルールから教わり、サポートされながら、最後は自分自身の努力でチームになくはならない選手になりました。スクラム練習とラインアウトリフトの練習では積極的に指導も出来る程に成長しました。私に大声で指摘されることもありましたが、腐ることなく一生懸命にプレーしてくれました。ラストシーズンでは、私に指摘されていた、ブレイクダウン、コンタクト、前に出るタックルを見事に自分のものにしてプレーしてくれました。

何も知らないところから、這い上がって試合に出た経験は、社会人として必要な辛抱・努力・準備・対策などすべての要素が入っています。

爽やで大きな笑い声をありがとう。

## 沖 奈菜美 宮山 礼菜

マネージャーの仕事は、組織が目標に向かっていく為に必要なことを支援すること。

何が必要で、問題点を見極め、チーム全体で報連相を実施して、効率よく組織を運営していくことです。簡単な仕事ではありません。

この4年間の経験を次のステージで遺憾なく発揮して下さい。ありがとう。

夢なき者に理想なし、

理想なき者に計画なし、

計画なき者に実行なし、

実行なき者に成功なし、

故に、夢なき者に成功なし。 誤 岡田 松陰 → 正 吉田 松陰

追伸 あなた達の初給料は、家族でうまいものを食べに行くためにあると、私は思います。以上。ありがとうございました。